

平成29年  
10月25日 水

↓ 平成30年  
1月20日 土



## 第23回特別企画展

# 人々が書き残した震災 - 濃尾地震と昭和東南海地震 -

今日のような映像技術や情報伝達技術が発達していなかった時期の地震では、地震を体験した人々や地震直後に現地に入った人々の書き残した記録は、地震とその被害を検証するうえで貴重な資料となってきました。そこで今回は、濃尾地震(1891年10月28日)と昭和東南海地(1944年12月7日)に焦点を当て、体験した人々や地震直後に被災地を見た人々の書き残した記録や回顧談を紹介しながら、それらから見えてくる地震とその被害の特徴を考えてみます。

designed by M.A

Disaster Mitigation Research Building

名古屋大学減災連携研究センター  
名古屋大学減災連携研究センター



昭和東南海地震 殉難学徒の碑  
半田市雁宿公園 鈴木其弘作



学徒勤労働員の記録編集会編  
『紅の血は燃ゆる』読売新聞発行 1971年

監修 名古屋大学環境学研究科 西澤泰彦  
監修 名古屋大学減災連携研究センター 都築充雄

# 特別企画展スペシャルギャラリートーク

場 所：減災館

テ ー マ： 人々が書き残した震災—濃尾地震と昭和東南海地震—

日 時： 2017年10月25日（水）13時30分～  
2017年12月5日（火）13時30分～

講 師： 西澤泰彦（名古屋大学環境学研究所）



「枇杷島鉄道アーチ」宮下欽写 震災写真 減災館蔵



テ ー マ： 「紅の血は燃ゆる」学徒勤労働員の記録から見る昭和東南海地震

日 時： 2017年10月26日（木）13時30分～  
2017年11月25日（土）13時30分～

講 師： 都築充雄（名古屋大学減災連携研究センター）



旧三菱重工道徳工場東南海地震犠牲者の慰霊碑 名古屋市南区

体感・体験により減災を学ぶ場である減災館では、特別企画展スペシャルギャラリートーク以外にも、開館日の13:30～減災館の教員によるギャラリートークを行なっております。

ギャラリートークの内容はホームページでご確認ください（ギャラリートーク予定表をダウンロードできます）。

10.25 <sup>2017</sup>水 → 1.20 <sup>2018</sup>土

## 第23回特別企画展



名古屋大学減災館

名古屋市千種区不老町  
TEL:052-789-3468

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/>

- 入場無料
  - 開館時間:13:00～16:00(入場は閉館の30分前まで)
  - 休館日:日・月曜日、祝日、第2・第4火曜日  
(但し、学校行事等により上記以外で急遽休館になる場合がございます。最新の情報は、ホームページでご確認ください)
- 【主催】名古屋大学減災連携研究センター

designed by M.A